

## 地域で触れ合いの輪を広げよう

地区社協主催「ひたち野ふれあいまつり」

8月5日、ひたち野うしく小学校の校庭で「ひたち野ふれあいまつりー盆踊りー」が開催されました。当日は学区内の園児たちの遊戯や児童・生徒の吹奏楽、演劇が行われたほか、盆踊りやフラダンスが催されました。また、ひたち野うしく中学校の生徒が運営に参加し、祭りを盛り上げていました。



## 市長と意見交換

8小学校区でタウンミーティングを開催

7月10日から8月4日にかけて市役所本庁舎で小学校区ごとにタウンミーティングが開催されました。これは、市民の皆さんと直接対話をし、協働のまちづくりを推進しようとして実施されているもので、行政区長や役員の皆さんが出席し、根本市長や市の執行部と政策や地域課題などについての意見交換を行いました。



## リトルリーグ全国大会へ、全力尽くすぞ

【硬式野球】牛久リトルリーグ、全国大会へ

硬式野球チーム、牛久リトルリーグが「AIGプレゼンツ MLB CUP 2023東関東連盟大会」で優勝し、全国大会への出場を決めました。7月25日には根本市長を表敬訪問し、全国への意気込みを語りました。

全国大会は、7月29日・30日に宮城県石巻市で行われ、見事3位に輝きました。



## 全国大会がんばるぞ！

【軟式野球】荃崎ファイターズ県大会優勝、全国大会へ

8月3日、荃崎ファイターズが「高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会」への出場を決め、その報告のため市内在住の選手3人が根本市長を表敬訪問しました。同チームは6月の県大会で優勝し、2年ぶり10回目の全国大会出場となります。3人は「相手は強いチームだけど、がんばって勝ちたい」と話しました。

8月5日に迎えた全国大会では初戦で優勝チームと対戦。惜しくも敗れましたが、この悔しさを糧にこれからもがんばると誓いました。



## 寄附

温かい善意ありがとうございます

日本ボーイスカウト牛久1・2・4団から茨城県共同募金会を通じ被災された取手市の方々へ

●台風第2号大雨災害義援金24,822円



明治安田生命保険相互会社つくば支社からうしくかっぱ祭り実行委員会へ

●うしくかっぱ祭りへの協賛金29万円



## 4年ぶりに開催！牛久の夏、かっぱ祭り！

「第39回うしくかっぱ祭り」が7月29日・30日、花水木通りや市役所、近隣公園を会場に開催されました。4年ぶりの開催となった今年の祭り。夏らしい陽射しと暑さの中、熱気あふれる2日間となり、2日間で22万人にのぼる来場者で大いに賑わいました。「河童ばやし踊りパレード」では、約8,600人が参加し、牛久第三中学校と刈谷行政区が優勝を飾りました。



おめでとうございます！！

### 河童ばやし踊りパレードコンテスト入賞団体

成績	7月29日【各事業所・団体】	7月30日【各行政区】	
優勝	牛久第三中学校	刈谷行政区	
準優勝	おくの義務教育学校後期課程	みどり野行政区	
第3位	(株)関電工人材育成センター	新地行政区	
審査員特別賞 (29日のみ)	Hula O Keolaoka' aina		
特別賞	団結賞	牛久第一中学校、三菱ケミカル(株)筑波工場	つつじが丘行政区、神谷二区行政区
	触れ合い賞	常陸太田市、下根中学校	緑ヶ丘行政区、向台行政区
	ハッスル賞	牛久ジュニア体操クラブ、牛久市民生委員児童委員協議会	第2つつじが丘行政区、東みどり野行政区
	ハッピー賞	牛久走友会、NPO法人ミラクルスポーツ・キングダム	牛久駅西ニュータウン行政区、田宮行政区
	はりきり賞	ひたち野うしく中学校、華扇会	さくら台行政区、小坂団地行政区



自分らしく輝く人を紹介します★

らしく、うしく。

07

## 牛久の魅力 再発見



よしはら ふみこ  
吉原 美美子 さん

夫と3人の息子とともにひたち野に住むフリーランスのデザイナー・アートディレクターである吉原美美子さん。2020年、デザインの力で牛久の魅力を再発見してもらおうと、子育て仲間とともに「牛久イケてる特産品プロジェクト(通称うしイケ)」を始動しました。現在、地元のお店・団体などと協力しながらイベント開催や新たな特産品の開発を続けています。



1

始めたきっかけはコロナ禍。「市外へ出かけられない状況になり、市内で親子が楽しめる活動をした」と考えました。同時に、牛久には昔から良

い商品があるので、デザインを通してさらにその魅力を伝えられたらなと思いました。まずは牛久在住の方々から良さに気がついてもらえるよう、友人のママたちと「うしイケ」を立ち上げました」

うしイケでは、料理が得意なメンバーがヤマイチ味噌を使った「牛久のみそシヨコラ」を開発するなど、各メンバーが自分の得意分野を活かしています。「うしイケには市外から移住してきた家族も多いので、牛久の魅力を伝えることで牛久と一緒に楽しんでほしいです」

また、活動を通してその魅力を知った新地町では「新地の台地で活きる会」の会員の方々と一緒に、親子で参加できるアート教室をしたり、自然の中で種まきをした

りごはんを囲んだり、年間を通して親子で楽しめるイベントを開催しています。「今私たちが子どもたちに牛久の自然を通してのびのびとした活動をさせているように、次の世代にもつなげていきたい」と笑顔で語ってくれました。

味噌を使った「牛久のみそシヨコラ」を開発するなど、各メンバーが自分の得意分野を活かしています。「うしイケには市外から移住してきた家族も多いので、牛久の魅力を伝えることで牛久と一緒に楽しんでほしいです」

また、活動を通してその魅力を知った新地町では「新地の台地で活きる会」の会員の方々と一緒に、親子で参加できるアート教室をしたり、自然の中で種まきをした

りごはんを囲んだり、年間を通して親子で楽しめるイベントを開催しています。「今私たちが子どもたちに牛久の自然を通してのびのびとした活動をさせているように、次の世代にもつなげていきたい」と笑顔で語ってくれました。



2

1 新地町にアトリエを持つ日本画家の一色直彦先生指導のもと、夏休みに「屏風アート」を開催 2 牛久のみそシヨコラ

さらに詳しいインタビューの内容はシティプロモーションサイトで。他にも自分らしく暮らしている人たちを紹介しています。

